

こっこめ通信 09 2020

「ババゴロシとヤマアキノノゲシ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

日本の南方洋上では台風がいくつも発生し、ジリジリと焼ける日差しの直後に激しい雨が降るなど、厳しかった夏もそろそろ終わりに近づいている気配が漂っています。

今回は八丈島に残された独特の自然と文化の中から、珍しいウリ科の栽培植物とあまり知られていないキク科の野生植物を一種類ずつ紹介したいと思います。題して「ババゴロシとヤマアキノノゲシ」号です。

貴重な瓜「ババゴロシ」

高級メロンに引けを取らない芳醇な香りに誘われて、一口口にすると「うっ！なんじゃこれ！？」となってしまう不思議な瓜「シマウリ（ババゴロシ・八丈方言）」。八丈島では昔から作られている夏の風物詩です。（M.K.）



◆ババゴロシ（シマウリ／モルディカメロン）
インドから伝来したババゴロシは、正式にはモルディカメロンと言います。古くから栽培され、平安時代には貴族の間で好まれましたが、今では八丈島と長崎県の福江島だけに残るとても珍しいメロンです。



◆どうやって食べるの？
熟すといい香りが漂い、皮が割れます。その頃が食べ頃です。食感はモサモサして喉に詰まるような感じです。そんな所がこの物騒な名前の由来でしょう。甘みが無いので砂糖や練乳などの甘みを足して食べます。

★クイズ！ババゴロシはどれだ！？

※答えは次のページにあります。

Q1. 花はどれ？



Q2. 葉はどれ？



Q3. 実はどれ？



Q4. 種はどれ？



いかがでしたか？ちょっと難しい問題もありましたが、香りはまるで高級メロン、食べてみると思っていたのと大違いな不思議で貴重な瓜「ババゴロシ（残念ながら今年はもう終わってしまいました！）」。

機会があったら是非、召し上がってみてくださいね！

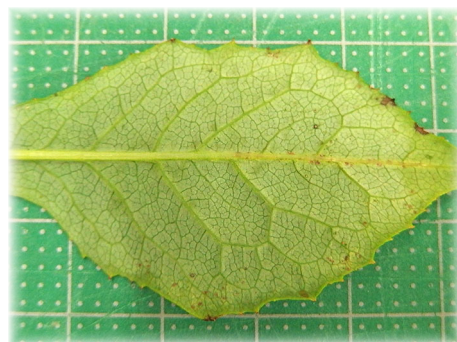
「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ついに発見！！ヤマアキノノゲシ

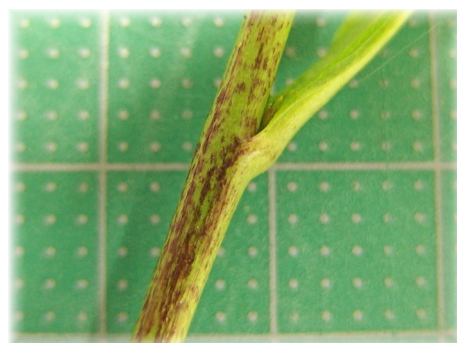
お隣の青ヶ島で発見された標本に基づいて記載された「ヤマアキノノゲシ」。だいたい以前に八丈島の三原山で見かけた正体不明の植物がそれではないかと思って気にかけていた所、再び会う事ができました。



葉は菱状倒卵形（角のある逆卵形）で表面にツヤがある。（正に！！）



葉裏の脈上に毛は無い。



茎にも毛は無い。

ヤマアキノノゲシ *Lactuca raddeana* var. *aogashimensis*

ヤマアキノノゲシの名前が初めて発表された論文では、ヤマアキノノゲシは本州に自生するヤマニガナとアキノノゲシの雑種とされていました。しかしその後の調査によって、ヤマニガナと同様にチョウセンヤマニガナの変種とするのが妥当と判断され、学名もそのように変更になっています。

今回発見したヤマアキノノゲシは、以前見られた三原山ではなく、八丈富士の中腹で確認したものです。

この仲間は種に綿毛があって風に乗って運ばれるので島内に広く分布するのは納得できますが、それにしても数が少なすぎる気がしますね。本場の青ヶ島でも自生する数は多くないようですが、どうしてなのでしょう？

右に同定の根拠を写真で紹介します。

(T.K.)



左側はアキノノゲシ
右側はヤマアキノノゲシ
ヤマアキノノゲシの果実には3本の肋がある。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。8月は半年ぶりに通常行事として再開し、9日(日)に実施しました。5人の方の参加があり、常連の方も久しぶりの行事を楽しんでくれたようです。

八丈植物公園季節調査(2020年第8回)参加者: 関根, 関根, 関根, 茂手木, 沖山, VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			27	ヒナギキョウ	花と実	8	タマシダ	
1	アオツヅラフジ	花	28	ホソバツルメヒシバ	実	9	ナチシケシダ	
2	アオノクマタケラン	実	29	ミツバ	実	10	ノキシノブ	
3	イワニガナ	花	30	メヒシバ	実	11	ハチジョウカナワラビ	
4	ウスベニニガナ	花	31	ヤブマオ	花	12	ハチジョウシダ	
5	ウリクサ	花	32	ヤマヌカバ	蕾	13	ヒトツバ	
6	オオアレチノギク	花	木本			14	ホシダ	
7	オオバコ	実	1	アオキ	若い実	15	ホラシノブ	
8	オニタビラコ	花と実	2	アカメガシワ	実	16	マツバラソ	
9	オヒシバ	実	3	イタビカズラ	実	17	マメツタ	
10	カタバミ	花と実	4	イヌビワ	実	18	ミゾシダ	
11	カヤツリグサ	実	5	エノキ	実	19	ヤマイタチシダ	
12	キランソウ	花	6	オオムラサキシキブ	若い実	20	ワラビ	
13	クルマバザクロソウ	花と実	7	ガクアジサイ	実	今回はシダ植物 20 種を含む 64 種の植物を観察しました。 夏枯れと公園内の草刈り作業をした直後だったこともあって、観察した種数は伸びませんでした。 今年巣立った野鳥の若鳥が出現する事を期待して全員で双眼鏡を携帯したのですが、空振りでした。 印象に残ったのはハチジョウコクワガタの雄が見られた事と、イヌビワの実に大量のリュウキュウツヤハナムグリが群がっていて、少し気味が悪かったこと位でしょうか。		
14	コニシキソウ	花と実	8	シマクサギ	咲き始め			
15	コマツヨイグサ	実	9	トベラ	実			
16	コミカンソウ	花と実	10	ハゼノキ	実			
17	ザクロソウ	花と実	11	ヒサカキ	実			
18	シチトウスミレ	閉鎖花	12	ヒメユズリハ	実			
19	スズメノカタビラ	実	シダ植物					
20	タチスズメヒエ	実	1	アラゲヒメワラビ				
21	チチコグサモドキ	実	2	イシカグマ				
22	ツメクサ	実	3	ウチワゴケ				
23	ツユクサ	実	4	オオタニワタリ				
24	テリハノブドウ	実	5	オニヤブソデツ				
25	トウバナ	実	6	カニクサ				
26	ナガエコミカンソウ	花と実	7	タチクラマゴケ				

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ハチジョウベニシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウベニシダ *Dryopteris caudipinna*

名前にハチジョウと付いていますが、八丈島に独特という訳ではありません。国内の分布を見ると伊豆諸島はハチジョウベニシダの分布域の端っこの方です。こうした例は他にもあって、私たち初心者が混乱する一因でもありますね。さて、八丈島にはハチジョウベニシダとよく似たキノクニベニシダとトウゴクシダも自生しています。

実はこれらを見分けるのが至難の業。確実に識別するには、1個の胞子嚢に入っている胞子の数を数え、64個ならハチジョウベニシダと思って良いらしいです・・・。挑戦して見ますか? (T.K.)

2020 八丈ビジターセンター 9 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 ○	2	3	4	5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	白露 7	8	9	10 ●	11	12 ガイドウォーク
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16	17 ●	18	19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク	21 ガイドウォーク	秋分 22 ガイドウォーク	23	24 ●	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「沢の小径自然観察会」
27 ガイドウォーク	28	29	30			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
9/13 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

八丈学講座 「沢の小径自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は中之郷三原川沿いの「沢の小径」を散歩します。
9/26 (13:30～15:00) 中学生以上
えこあぐりまあと駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日 (10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2020.9.1 第232号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

新型コロナウィルスは未だに収束の兆しが見えません。八丈ビジターセンターでも感染拡大防止に細心の注意を払い、規模を縮小するなどして行事を実施しています。皆で感染拡大防止を心がけ、新しい日常に慣れていかなければなりません。(T.K.)